

今後の国立大学附属病院施設整備に関する検討会・報告書骨子（案）

I 国立大学附属病院の現状と課題等

1. 国立大学附属病院に求められる機能と役割

(1) 教育, 研究, 診療, 社会・地域貢献, 国際化という5つのミッション

- ・ 将来の医療を担う医療人の教育・養成
- ・ 臨床医学発展と医療技術水準の向上への貢献
- ・ 地域の中核病院としての質の高い医療の提供
- ・ 地域間格差の是正, 医療の質均てん化
- ・ 国際水準の医療実現, 医療での国際的リーダーシップ

(2) 高度先進医療の担い手であり, 今後の医療制度を踏まえた病院・病床の機能分化に対応した大学附属病院

- ・ 高度な医療の提供・教育, 高度な医療技術の開発, 評価, 研究の実践の場など, 政策的医療機関としての位置づけ
- ・ 新たな医療（ハイブリッド手術や低侵襲治療, 化学療法, デイサージャリーなど）の場としての位置づけ
- ・ 地域の中核的医療機関としての位置づけ

等

2. 国立大学附属病院の現状と課題

(1) 附属病院再開発整備におけるハード面の現状と課題

- ・ 限られた構成員の考えのみならず, 患者や医療スタッフへの満足度調査及び病院機能評価の結果なども十分に考慮した整備計画
- ・ 病院整備の計画・立案時のみならず整備終了後においても整備方針やコンセプトなどを医療スタッフ間で共有
- ・ 成長と変化に対応するため, 汎用性, 拡張性を持たせた施設計画, 及び次期の病院整備を見据えた将来計画の策定
- ・ 病院施設のマネジメント（刻々と変化する医療需要に応じたスペースの有効活用）

等

(2) 政策的課題や社会的要請などのソフト面における現状と課題

- ・ 国立大学附属病院本来の教育・研究ニーズ, 医療制度改革や地域の保健医療計画, 将来の医療需要予測などを踏まえた当該大学病院の使命, 役割に基づく施設整備

等

II 国立大学附属病院施設の目指すべき方向性

6. 病院施設のマネジメントをしっかりと実施しつつ, 1~5への需要に対応

1. 教育・研修機能充実への対応

- ・ 医療スタッフ教育のためのカンファレンスへの対応
- ・ 医療スタッフに対する医療シミュレータや模擬患者（SP）を利用した技能教育・研修への対応

等

2. 研究機能充実への対応

- ・ 新しい診断法や治療法の開発, 難治性疾患の研究等への対応
- ・ 治験等を通じた新薬開発への対応

（レンタルラボの導入やスペースチャージ制導入の可能性）

等

3. 高度先進医療の実践への対応

- ・ 手術件数の増加に伴う手術室の効率的施設運用（リカバリー室の設置, 一足制の導入など）

・ 新たな医療（ハイブリッド手術や低侵襲治療, 化学療法, デイサージャリーなど）への対応

等

4. 地域医療連携への対応

- ・ 地域医療連携の強化（入退院センター, 高度救命救急センターの設置など, 保健医療計画の中での位置づけ, 厚生労働省や都道府県の補助金活用の可能性）

等

5. 国際化への対応

- ・ 外国人留学生と日本人医療スタッフや医学部生との交流への対応

等

6. 病院施設のマネジメントへの対応

(1) 中長期的にわたる効率的・合理的な計画への対応

- ・ 地域の保健医療計画や将来の医療需要（外的要因, 内的要因）などを熟慮した中長期マスタープランの策定
- ・ 社会（医学・医療）の変化に対応するためのマスタープランの検証, 必要に応じた見直し, 再計画

等

(2) 経営改善・効率的病院運営等を踏まえた対応

- ・ 既存病院施設の効率的・効果的な運営（医療需要の変化に伴う限られた人的・物的資源の配分に応じたスペースの有効活用）
- ・ 効率的な物品管理（適正在庫の把握, SPD導入の可能性）などによる保管スペースの集約化
- ・ 外来患者の予約システムなどの情報システム導入による効率的施設運営（外来待ち時間の解消, 駐車場不足の解消）

等

(3) 利用者（患者, 医療スタッフ）への対応

- ・ 患者アメニティの向上（病室や外来診察室などのプライバシー確保, インフォームド・コンセントの充実など）
- ・ 利用者のためのサービス向上（患者及び医療スタッフへの満足度調査結果などへの対応）
- ・ 利用者が使いやすい環境整備（ユニバーサルデザイン, バリアフリー化への対応など）

等

(4) 安全・安心な病院環境づくりなどへの対応

①安全な病院環境の確保への対応

- ・ 院内感染予防対策（感染対策病室内の排気独立, 陰圧制御など）
- ・ 病院施設やライフラインの計画的な老朽改善, 院内防犯対策

等

②災害時の防災機能強化への対応

- ・ BCP等に基づく災害拠点機能の強化（水, 電気等のライフライン維持, 備蓄倉庫やヘリポート整備, 耐震化など）
- ・ 災害時における多数の患者受入れのためのトリアージスペースの確保, 医療ガス設備の設置

等

③地球環境配慮への対応

- ・ 省資源, 省エネルギーの推進

等

Ⅲ 施設整備を行う際の基本的な視点及び留意事項

キーワード : 国立大学附属病院のミッションを踏まえた将来の変化に対応できる病院づくり

1. 個々の国立大学附属病院における役割・機能を見据えた施設整備

地域医療ネットワークや大学病院ネットワークにおける連携を図った上で、当該国立大学附属病院が担う役割・機能を明確にしつつ、必要な運営、整備を実施

2. 視点及び留意事項

(1) 組織体制の整備

- ・ マスタープランの策定や病院整備の計画・立案時のみならず、整備後の病院施設の効率的・効果的な活用促進や計画的な維持管理までを一貫して担う持続した組織体制の整備
- ・ 組織体制による統一的な意思決定プロセスの確立、決定方針やコンセプトなどの共有
- ・ 過去の病院整備や病院施設マネジメント、維持管理などで培ったノウハウの蓄積、承継 等

(2) 設計条件の検討

- ・ まず既存病院施設の効率的かつ効果的な活用ないし運用が最大限なされているか検証
- ・ 病院マスタープランや将来の医療需要などを踏まえた施設規模の検討、病院設計への反映。あわせて、ライフサイクルコストを見据えた投資規模の検証（ゴーイング・コンサーンの考え方）
- ・ 施設規模の検討に必要な多種多様なエビデンスの収集、整理 等

(3) 建築的工夫などへの配慮

大学病院を建築する際の基本事項を簡単にまとめた上で、将来の変化に対応した建築的工夫などの事例及び当該事例から読み取れる工夫を抽出

①成長・変化し続けられるための建築的工夫 → 事例から読み取れる工夫を抽出（一般化）

②使い続けられるための建築的工夫

- ・ 病院施設の改修が容易だった事例、改修に配慮した事例
- ・ 病院施設の改修・変更すべきことが明らかになる事例
- ・ 計画的に病院施設の維持管理がなされている事例

これらの事例の中から読み取れる工夫を抽出（一般化）

Ⅳ 国立大学附属病院施設の新たな展開に向けて

今後の医療制度改革の方向性などを見据えつつ、更なる施設整備の在り方を検討

(参考資料)

(1) 医療を取り巻く政府の動き

- ① 社会保障・税一体改革大綱（平成24年2月17日閣議決定）
- ② 社会保障制度改革国民会議（社会保障制度改革推進法による）
- ③ 臨床研究中核拠点の創設
- ④ 国土強靱化（ナショナル・レジリエンス（防災・減災））推進に向けた当面の対応（国土強靱化の推進に関する関係府省庁連絡会議）

(2) 国立大学附属病院の今後のあるべき姿を求めて～その課題と展望～（平成24年3月、国立大学附属病院長会議）

(3) 国立大学附属病院機能一覧（病床数、災害拠点、救命救急、周産期、がん、エイズなど）

(4) 国立大学附属病院施設整備の現状

- ① 第3次国立大学法人等施設整備5か年計画（平成23年度～平成27年度）
- ② 国立大学法人等施設整備予算額の推移
- ③ 国立大学附属病院再開発整備の進捗状況
- ④ 国立大学附属病院再開発整備の一般的整備手法
- ⑤ 国立大学附属病院の設置から再開発着手までの期間
- ⑥ 国立大学附属病院再開発整備に係る整備単価（民間病院との比較）

(5) 組織体制の事例（事例が見つからない場合には、理想的な組織体制像）

(6) 設計条件の考え方、手法（与条件設定プロセス）及び主要なエビデンス一覧

(7) 建築的工夫などの事例（国立大学附属病院や民間病院などの事例）

(8) 厚生労働省補助金メニューと国立大学附属病院における活用事例

(9) 東京医科歯科大学医学部附属病院、群馬大学医学部附属病院及び東海大学附属病院の現地視察報告

(10) 国立大学附属病院の再開発整備の成果と課題について～これまでの再開発整備の成果と課題に係るアンケートまとめ～

(11) 病院整備のためのチェックシート

(12) 今後の国立大学附属病院施設整備に関する検討会・設置要綱、委員名簿